

## 非線形数理・秋の学校

# パターン形成の数理とその周辺

## 反応拡散方程式理論による時・空間パターンの解析を中心に

2007年9月25日(火)~27日(木)

明治大学秋葉原サテライトキャンパス (JR 秋葉原駅前・秋葉原ダイビル 6F)

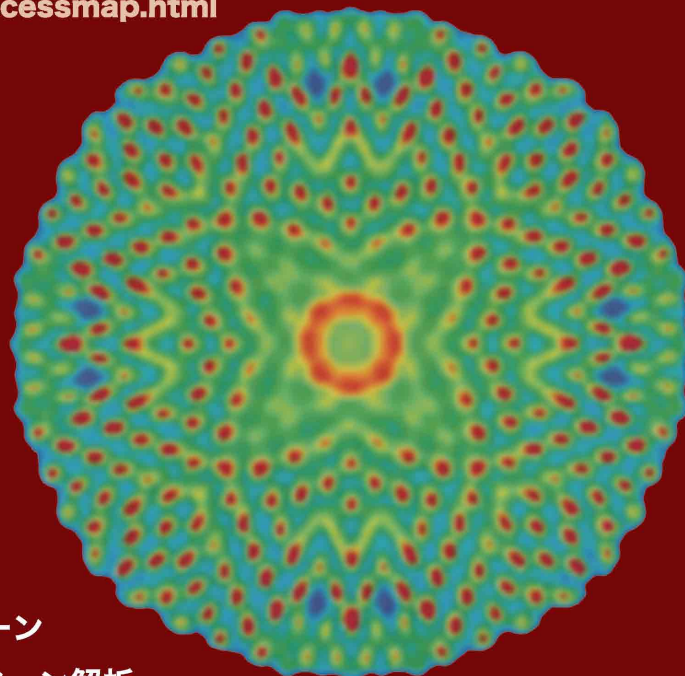
アクセス方法詳細: [http://www.meiji.ac.jp/tlo/akiba\\_accessmap.html](http://www.meiji.ac.jp/tlo/akiba_accessmap.html)

### 3時間チュートリアル講義 (順不同・仮題)

- ・小川知之 (大阪大学): 分岐理論と中心多様体
- ・池田榮雄 (富山大学): 特異摂動理論
- ・柳田英二 (東北大学): 歪勾配系

### 1時間講義 (順不同・仮題)

- ・近藤滋 (名古屋大学): 生物における Turing パターン
- ・池田勉 (龍谷大学): モデル方程式を通してみるパターン解析
- ・西浦廉政 (北海道大学): Turing パターンに関わるこれまでの理論展開と将来への道筋
- ・新居俊作 (九州大学): 3重接合点を持つ定常解の分岐



様々な時・空間パターンを解析するためにこれまで発展してきた, 反応拡散系における代表的な理論の中から特に, 分岐理論, 特異摂動理論, 歪勾配系を取り上げ, その入門的講義を行います。また, パターン解析における最先端の話題や他分野との関わり, 未解決問題などを, 初学者用に啓蒙的に紹介する1時間講演も行います。できるだけ予備知識を仮定せず, 平易かつ明快な解説を目指しております。レクチャーノートを作成中で, 当日受講される方に配布を予定しております。参加費は無料ですが事前申し込みが必要です。申し込み方法など, 詳しくは, 以下のページをご覧ください。

<http://www.math.kyushu-u.ac.jp/~snii/Autumn-School.html>



連絡先: 栄伸一郎 (九州大学) [ichiro@math.kyushu-u.ac.jp](mailto:ichiro@math.kyushu-u.ac.jp)

組織委員: 三村昌泰 (明治大学), 栄伸一郎 (九州大学), 辻川亨 (宮崎大学),

新居俊作 (九州大学), 上山大信 (明治大学)

後援: 明治大学先端数理科学インスティテュート・現象数理部門 (仮称)